

# 女性のつながりサポート事業【島根県】

## 地域の実情と課題

- ・全国平均と比べ、非正規の職に就いている女性の割合が多く、また、東西に長く離島を有するためエリア間の往来に時間を要する本県は、孤独・孤立で不安や課題を抱える女性を支援する民間団体も少なく、県内各地にまで支援が行き届いていない状況がある。
- ・本県においては、支援団体のない県西部、離島地域、中でも新型コロナウイルス感染症拡大の影響により困難や不安を抱える層にも支援を届ける体制づくりが必要。

## 事業の特徴

- 相談会等事業については、各委託団体が、これまでそれぞれの地元を拠点に実施してきた集いの場の提供、相談会等の取組を拡大。県内各地に活動を広げ、出張交流会やオンライン相談等を駆使し、困難を抱える女性同士が繋がる居場所づくりを推進。
- ・生理用品配布等事業については、県社会福祉協議会を中心に、県相談機関や学校等に生理用品を配置。生理用品の配布をきっかけとして、困難や不安を抱える女性の早期発見、身近な相談機関の情報提供を行うことで、必要な相談支援につなげていく環境づくりを実施。

## 事業の効果

- ・これまで支援が届かなかった地域に出向き、県内各地の様々な困難を抱える女性へ支援を拡大出来たこと。
- ・委託団体と参加者がつながることで、安心して相談できる場(相手)の確保が出来たことや孤立防止に繋がったこと。
- ※シングルマザー支援団体における離島・中山間地域での会員数の増:15名(目標30名)
- ※各団体によるオンラインでの相談件数の増:計98件(目標170件)
- ・生理用品の配布をきっかけに、不安や悩みを抱える女性を相談支援に繋げていくことが出来たこと。

## 目的・目標

- シングル女性支援団体が主催する相談会等参加者の増:21名(目標70名)
- シングルマザー支援団体の会員数の増:105名(目標120名以上)
- 全市町村での相談機関等の周知:19市町村(目標19市町村)
- ・上記目標の内、2項目については、様々な要因が重なりいずれも目標には及ばなかったが、相談会に参加した方々からの反応は良く、満足度は高かった。

## 連携団体

- 以下3団体へ委託
  - ・相談会交流会等  
:るりつく,しんぐるまざあず・ふおーらむ出雲(島根)
  - ・生理用品配布及び相談機関周知等  
:社会福祉法人島根県社会福祉協議会
- 上記団体を中心に下記団体が連携
  - ・各市町村社会福祉協議会,各マザーズハローワーク,各児童相談所,女性相談センター,各保健所,各学校,県内開業助産院等

## 今後の課題

- ・行政や支援団体同士のネットワークを更に強化するとともに、地域の様々な立場の者が困難を抱える女性と多方面から関わり、継続的な支援を行っていくこと。また、そうした支援者のスキルアップ。
- ・広報手段として、支援者や地域でキーとなるような機関・場所を巻き込み、必要な方にピンポイントで届けることも重要。
- ・どの地域からも気軽に参加できるオンライン相談の機会の増加。
- ・支援団体のない地域における新たな拠点づくり。

# 事業の概要

## 女性のつながりサポート相談事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、困難や不安を抱える女性に寄り添った支援を行うため、NPO等の民間団体の知見を活用したきめ細かい相談支援を実施

- ① 電話やメール、オンラインでの相談対応
- ② 県内各地域で相談会や交流会を実施
- ③ 生理用品の配布とあわせて各種相談支援機関の周知を実施

